

INTERVIEW

内容

どんな仕事を
しているの？

土木工事現場で、現場監督を務めています。主に官公庁から道路や河川などの工事の発注を受けて、その工事が計画通りに行われるように現場を取り仕切り、作業や工程など完成までを管理・監督する仕事です。これまでは先輩と一緒に現場を回っていましたが、最近、独立して砂防ダムの現場監督を任されています。

地元で働く
理由は？

小さい頃から下北が好きで、ずっとこの地域で暮らしたいと思っていました。高校時代、当社のインターンシップに参加した際、工事現場でモノづくりに取り組む方々の熱意にふれ、建設業界で働きたい!と思いました。大学進学は、卒業後、むつ市に戻って就職することを想定しての進学でした。



仕事と私生活を
両立する工夫は？

当社は、土日が完全に休みなので、平日は一生懸命仕事に取り組み、休日はしっかり休むなど、オンオフのメリハリをつけながら過ごしています。結婚してからは、休みの日は、家でんびりしていることが多いですね。しっかり睡眠をとリフレッシュして、さあ今週末また頑張ろうとモチベーションをあげています。

青森の魅力は？

自然が豊かで、食べ物がおいしいこと。そして、何より人が温かいと感じます。大学では、県内のさまざまな地域出身の人と出会いましたが、みんな優しくて本当にいい人ばかりでした。青森は、都会に比べて遊ぶ場所は少ないかもしれませんが、特に不便さを感じることはなく、暮らしやすいと感じています。

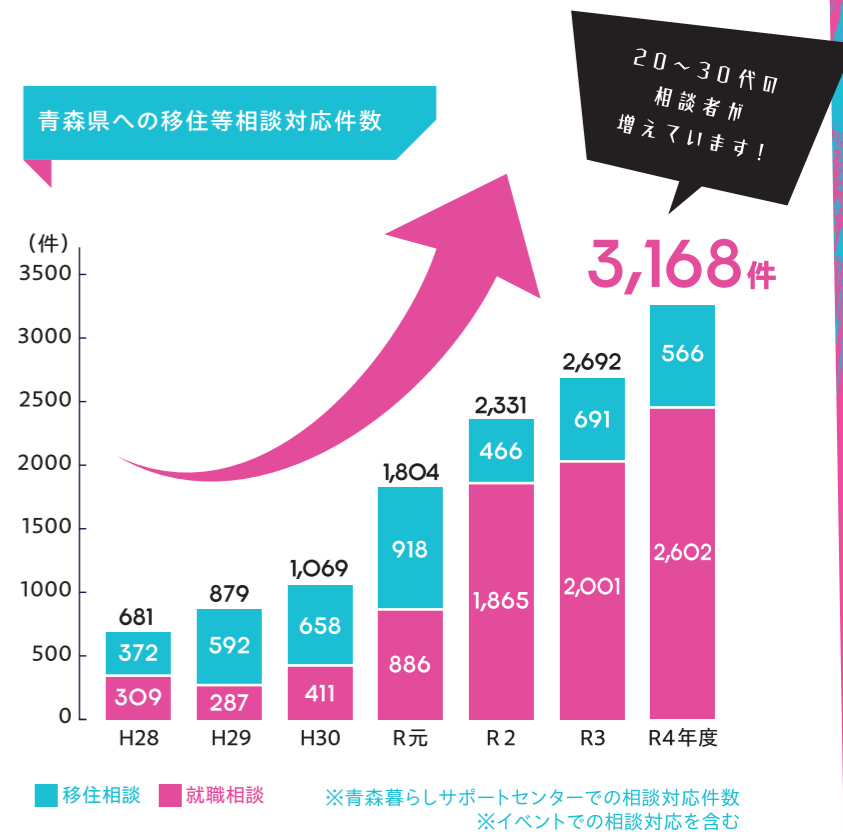
高校生への
メッセージ

何かひとつでも、自分が夢中になれるものや目標を見つけられるといいですね。私の場合、インターンシップがきっかけで今の仕事に興味を持ちました。高校時代にもっと勉強したらよかったと思うこともあります。好きなことが見つかったら勉強を始めても決して遅くはありません。自分の夢に向かって頑張ってください!



青森県立大湊高等学校 1年
左: 小林 愛奈さん
右: 鍋谷 レオンさん

いつか青森で暮らしたい
県外からも青森へのUターンや移住に向け、
動き始める人が増加!



青森県にUターンしたくなったと

青森県を離れる人も、将来Uターンしたいと考えることがあるかもしれません。Uターンしたいけど、何から始めたらいいの? 仕事はどうしたらいいの? そんなときは、「青森暮らしサポートセンター」(東京・有楽町)へ相談! 青森県へのUターンについて相談員が個別にサポートします。

YES! AOMORI